

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	2 3	学校名	宇都宮市立平石中央小学校
-----	---------------	------	-----	-----	--------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな人間性と創造力を持ち、自主的精神に満ち、心身共にたくましく、実践力のある児童の育成を目指す。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・明るく元気できたえる子
- ・おちついてよく考える子
- ・みんな仲よくきまりを守る子
- ・ねばり強くやりとげる子

※ 平央小の合言葉 「みんな 明るく なかよく 元気よく がんばるぞ」

2 学校経営の理念

「子供たちが行きたい、保護者が通わせたい、教職員が勤めたい学校づくり」

児童が生き生きと生活し、自分の目標に向かってよりよく成長している姿があつて、はじめて地域や保護者に信頼される学校となる。そして、児童の成長している姿を実感できることが教職員の喜びとなる。

これらの視点からテーマを設定した。そこで、児童が生き生きと自分らしさを発揮し豊かに学び合う学校、教職員が教育の喜びを実感できる学校、保護者・地域住民から信頼され地域とともにある学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針

- (1) 楽しく居がいのある学校づくりの推進に努める。
- (2) 生きる力を育む教育実践に努める。一基礎・基本の定着及び活用する力の育成と学ぶ意欲の向上
- (3) 社会の一員として共に生きることでできる能力や態度の育成に努める。
- (4) 特色ある学校づくりを推進し、学校・家庭・地域との効果的連携を図り、児童の健全育成と地域とともにある学校づくりに努める。ー創立 150 周年に向けた準備を通した地域・家庭との連携の強化ー
- (5) 教職員の資質・能力の向上を図り、信頼される教職員の育成に努める。
- (6) 地域学校園の重点課題の達成に努める。
- (7) 複式学級の効果的な運営及び業務のスリム化や勤務時間を意識した働き方を推進するように努める。
- (8) コロナ感染症対策を徹底し、状況に応じた適切な対応に努める。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成

4 教育課程編成の方針

確かな学力を身に付け、豊かな心や健やかな体を育成し、児童一人一人の個性や能力を伸ばし、夢を育むとともに、家庭・地域との連携・協働により地域に開かれた信頼される学校作りを目指して編成する。
今年度は複式2学級対応に取り組む。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ・教職員の資質・能力の向上と複式2学級の実施に伴う更なる校務見直しによる働き方改革の推進
 - ・低高2ブロック全教職員による複式学級の推進とチーム平央の教職員力の向上
- (2) 学習指導
 - 一人一人に応じた分かる授業の展開と、自ら考え意欲的に学び合う児童の育成
- (3) 児童生徒指導
 - さわやかなあいさつ、適切な言葉づかいのできる児童の育成
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
 - 進んで健康・体力の向上に取り組む児童の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

小規模校の特性を生かした活動を通して、自主性・協調性・社会性を養うとともに、自己を見つめ仲間とともに、よりよく生きようとする態度を育成する。

(2) 具体的取組(提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇)

① 教科, 特別の教科道徳, 特別活動, 総合的な学習の時間

○複式学級の実施による低高2ブロックにおける教科間・学年間の連携

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

○基礎・基本の定着を目指した「分かる授業」の展開

○学び合いを重視した多様なものの見方や考え方の育成

◇○ICTを活用した効果的な授業の実践と児童のデジタルリテラシーの育成

◇○地域の高齢者, 幼稚園, 住民との交流を図る活動の実施

② 常時活動

◇○ファミリー班(縦割り班)を生かした活動の充実(全校給食の実施を含む)

③ 学校行事・児童会活動等

◇○運動会での親子種目(平央音頭)・全校種目(全校鼓笛・全校リレー・全校綱引き)の実施

◇○地域の人々や高齢者との交流を深める「昔遊び集会」の実施(児童会主催)

○児童の発想や願いを生かした児童会活動(児童集会活動, 委員会活動)

◇○全校文集「ありの子」の作成と発行

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり(「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」)

① 基本的考え

・よりよい学校づくりのために, 魅力ある学校づくり地域協議会の学校運営への参画を充実させるとともに地域の教育資源を活用し, 学校経営の工夫・改善に努める。

② 主な取組

・会議運営の工夫改善による学校運営への参画促進及び創立150周年行事準備における連携強化

・地域協議会との連携・協働による, 保護者や地域の人材また企業等を活用した教育活動の推進

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

・よりよい学校づくりのために, 義務教育9年間を見通した教育活動の推進並びに地域の実情を踏まえて教育活動の質を継続的に高めるための工夫に努める。

② 主な取組

・基礎学力の向上を図るための自主学習の奨励と家庭学習の習慣化の推進

・学力向上並びに集団への適応能力向上に関する園内での研究実践(共通課題の洗い出しと対策の実施)

(3) 不登校対策

① 基本的考え

・児童一人一人の居がいを大切にして, 不登校防止のため組織的な対応に努める。

② 主な取組

・児童理解のため定期的な児童指導連絡会議の実施(職員会議終了後)

・児童理解のためアンケート・QU調査・教育相談週間の実施

・人権意識を高める人権教育週間(まごころ週間)の実施

(4) GIGAスクール構想

① 基本的考え

・タブレットの活用を通して情報活用能力を育成し, 個別最適な学びと協働的な学びの効果的な実現に努める。

② 主な取組

・学年に応じた活用のためのスキル育成

・効果的なツールを活用した適切な課題による授業や家庭学習での有効活用(AIドリルの活用等)

(5) 宇都宮学

① 基本的考え

・宇都宮の現在や歴史, 伝統文化を学ぶことにより, 理解を深め, 郷土愛を育む。

② 主な取組

・社会科や総合的な学習の時間における授業実践や施設巡り等の校外学習

(様式2)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	2 3	学校名	宇都宮市立平石中央小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	--------------

令和4年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

【国語】

- ・ 県の調査では、領域の正答率に学年間の差があり、新5年は二つの領域をのぞいて上回っていたが新6年はすべての領域で市や県の正答率を下回った。しかし「我が国の伝統文化に関する事項」ではどちらの学年もよくできていたことと「話すこと、聞くこと」と「書くこと」の領域で、特に下回っていたことが新5年にも新6年にも共通している。特に「話すこと・聞くこと」で、話の中心を捉えて聞いたり、自分の考えを明確にして話したりする設問で共通して課題が見られた。また「書くこと」でも、自分の考えを明確にして文章に表す設問で共通して課題が見られた。これらのことから、「読み・書き」の基礎基本をしっかりと押さえ、語彙力を高めるとともに、文や資料をていねいに読み、深く分析することを通して、自分の考えを明確にし、文章化することについて指導していく必要があると考えられる。

【算数】

- ・ 5年はすべての領域で市や県の正答率を上回ったが、6年はすべての領域で下回った。「データの活用」は比較的、どちらの学年でもよくできていた。しかし、表やグラフを正しく読み取る設問で共通して課題が見られた。グラフを的確に読み取る経験を積ませ、様々な情報を読み取れるようにしていきたい。また6年では、複合図形の面積を求める問題や、「変化と関係」の伴って変わる2つの数量関係の設問で課題が見られた。日々の生活と結び付けて扱うようにし、より具体的にイメージをつかめるようにしていきたい。そして、どちらの学年も自分の考えを式、図、言葉で説明する活動を積極的に取り入れ、学習内容の定着を図りたい。また、数多くの多様な問題に取り組ませることで応用力を高めたい。

【理科】

- ・ 5年は「物質・エネルギー」で上回ったが、「生命・地球」で下回った。6年はどの領域も市の平均正答率を下回っている。どちらの学年も実験の方法や操作の技能は身に付いているが、実験の結果から関係性を自分なりにまとめ、理解する力には個人差がある。理由などについて話し合いの時間を取ったり、まとめの時間に文章で書かせたりして内容を深く理解できるようにする必要がある。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・ 「勉強が好きですか」の問いに、51人中41人が「好き」「まあ好き」と答えている。
- ・ 授業への取組についての「授業に必要なものは忘れずに持ってきている」「先生や友だちの話を最後まできちんと聞いている」「授業を集中して受けている」という問いや、学習に対する気持ちや態度についての「学習をしていて、おもしろい、楽しいと思うことがある」という問いに対しては、どの学年でもおおむね肯定割合が高い。
- ・ 家庭学習では、低・中・高学年すべての学年で、授業日は市のスタンダードに示されている時間は学習していると回答する児童の割合は高くなっている。しかし休日については、低学年は平日と同様に取り組んでいる児童が多いが、中・高学年では、市のスタンダードより短く答える児童が多

い。毎日の学習の習慣化は図られているが、学年が上がるにつれて休日はあまり取り組めていないことが分かる。

(3) 授業等への取組状況から

- ・ 児童は全体的に落ち着いた態度で学習を進めている。グループ学習にも進んで取り組み、協力し合って課題解決に当たっている。
- ・ 話し合い活動にも意欲的に取り組むが、司会を中心にした話し合いや、話の内容に対して自分の考えを述べる力には個人差がある。自分の考えを文章に表すことに苦手意識を持っている児童も多い。自分の考えを発言できる力を身に付け、協働学習の充実へとつなげたい。
- ・ 作業的な学習には熱心に取り組むが、学習した事柄を活用していこうとする意欲や態度には、個人差が見られる。

2 今年度の重点目標

- ・ ICT を活用した一人一人に応じた分かる授業の展開と、自ら考え表現することができる児童の育成

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「令和4年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) 基礎・基本の確実な定着

- ★□○話の聞き方、発表の仕方、話し合いの進め方など学習態度や学習技能の指導の徹底（通年）
- ★ 漢字や計算小テストの実施による基礎事項の反復練習（通年）
- ★□ 発達段階に合った分量・内容の宿題等、家庭学習の習慣化（通年）
- ★□○日常での言語環境の整備、語彙を増やす指導の工夫

(2) 学習指導の工夫・改善

- 複式学級の効果的な学習指導の工夫と共通理解（通年）
- ★□ タブレットの効果的な使い方の工夫と共通理解（通年）
- ★□ 学習内容定着度調査、学習と生活についてのアンケートの結果の公表（3月）
- ★□ TT指導や習熟度別指導による個に応じた、分かる楽しい授業の展開と学習意欲の向上（通年）
 - グループ活動等を通して、互いに認め合い学び合える支援の工夫（通年）
 - 視覚に訴えた分かりやすい資料提示や学習環境の整備（通年）
 - 図書館司書と連携した、読書環境の充実、及び、読書の推進（通年）

(3) 授業の充実

- ★□○児童が必然性を感じるような話題の設定と学習方法や学習形態の工夫（通年）
 - 学習のねらいや見通しをつかむことができる導入の工夫（通年）
 - 児童の立場に立った話し合いの支援と学び合う時間の確保（通年）
 - 分かりやすい板書の工夫とノート指導の充実（通年）
 - 児童が考えの深まりを実感できるような学習のまとめや振り返る活動の充実（通年）

(4) 家庭・地域との連携・協力

- ・ 年3回の保護者会を利用した家庭学習の進め方についての周知（通年）
- ・ 児童による自己評価「振り返りカード」を活用しての個人懇談の実施（7月）
- ・ 読み聞かせの実施（ボランティア毎月1～2回）
- 家庭読書の奨励（通年）
- ★□学習内容定着度調査、とちぎっ子学習状況調査の結果を生かした説明（4月）
 - ・ 宇都宮学など学校の取り組みについての積極的な情報発信（4月・10月・3月）

(様式3)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	23	学校名	宇都宮市立平石中央小学校
-----	---------------	------	----	-----	--------------

令和4年度 児童生徒指導に関する取組

1 児童生徒指導上の主な実態

(1) 問題行動等調査から

- ・発生したいじめの件数は0であった。いじめに関するアンケート調査の結果では、短い期間に嫌なことを言われるなどの情報が上がってきたが、学級担任等で対応し解消にあたってきた。
- ・不登校の児童はいなかった。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・挨拶は、約9割の児童がしていると回答している。
- ・「学習して、できるようになることはうれしい」の肯定的回答の割合は全校で9割超となっている。
- ・「学校のきまりやマナーを守っている」の肯定的回答の割合が全校で100%となっている。
- ・「時間や約束を守ることが大切と思う」の肯定的回答の割合が全校で9割超となっている。
- ・「学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる」と答える児童の割合が全校で9割近くとなっている。
- ・言葉遣いに気をつけている児童の割合が全校で9割近くとなっている。
- ・「社会のできごとに関心があり新聞やテレビから情報を得ている」児童の割合が、全学年で8割超となっている。
- ・「本や新聞を読んでいる」児童の割合が、ほとんどの学年で市平均を超えている。
- ・学習時間は、市平均よりもやや長い傾向が多くの上学年で見られる。
- ・読書時間は、市平均よりもやや短い傾向が高学年で見られる。ほとんど読まないと回答した割合が高学年で45%近くとなっている。
- ・携帯電話、スマートフォンの保有率はすべての学年で市平均を下回っている。使用時間は、高学年で市平均よりやや長い児童が数名見受けられる。
- ・「テレビ」、「ビデオ」、「スマートフォンやタブレット、パソコンの動画」を見ている時間は、市平均よりも長い傾向が高学年で見られる。
- ・ゲーム機、スマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンでゲームをしている時間が市平均よりもやや長い傾向が、高学年で見られる。

(3) 学校生活の状況から

- ・挨拶をする意識は、ほぼ全員の児童の中で高まっている。実際の行動を見ると、挨拶をする状況による行動の違いが見られる。
- ・場に応じた言葉遣いや返事については、ほとんどの児童が気を付けるようになったが、実際の行動を見ると個人差や場面による違いが、まだ見られる。
- ・決められた役割や指示されたことには取り組めるが、全体を見て動くことやさらに仕事を見つけてよりよい活動をしようとすることは十分ではない。

2 今年度の重点目標

望ましい生活習慣を身に付け、きまりを守り、さわやかな挨拶、適切な言葉づかいのできる児童の育成

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭で★、「令和4年度指導の重点」に関する取組は文頭で□、不登校対策における取組のうち重点は文頭で○）

(1) 基本的生活習慣の育成

- ・ 授業・行事等の開始時刻を守り、人の話をしっかりと聞けるよう全校体制で取り組む。(通年)
- ・ 地域協議会、PTAと連携を図った挨拶運動を行う。(毎月)
- ・ 挨拶と会釈、場に応じた言葉遣いを継続的に指導する。(通年)
- ・ 児童主体のあいさつ運動を行い挨拶の習慣化を図る。(毎月)
- ★□ 正しい言葉遣いや場に応じた言葉遣いについて、学級活動や道徳の授業の重点目標として取り上げて指導する。(通年)
- ・ 学校だよりや学年だより等で、家庭に向けて適切な言葉遣いに関する啓発を行う。

(2) 規範意識の醸成と向上

- ★ 「平央小よい子の一日」や月目標をもとに、道徳教育や特別活動との関連を図りながら、発達の段階に応じた規範意識の醸成、向上に努める。(通年)
- ・ 時と場に応じた行動の指導(通年)

(3) 思いやりの心の育成

- ★□○ 学級活動や道徳教育の時間等におけるいじめを許さない態度や実践力を育てる授業の実施。
- ★□ 生活科や総合的な学習の時間等における異年齢や高齢者との交流、生命尊重や心身の成長にかかわる学習、体験的な学習活動等を通して、一人一人の心を育てよう努める。(通年)
- ★□○ まごころ週間(人権教育強調週間)の活動を通して、人権意識や実践力を高める。(12月)

(4) 集団づくりと授業づくりの相互の関連を図った指導の工夫

- ★□○ Q-Uの結果を活用した学級経営の充実(通年)
- ★□ 学業指導を充実させ、「学びに向かう集団作り」をする。(通年)
- 分かる喜びや達成感を感じられる「子どもが意欲的に取り組む授業づくり」をする。(通年)
- 異学年による集団活動(児童会活動・学校行事等)を通して、友達のよさを発見し互いに認め合える望ましい人間関係の育成を図る。(通年)

(5) 個に応じた支援の充実

- ★□ いじめのアンケート調査を行い早期発見・早期対応を図る。
- ★□○ 定期教育相談(6・11・1月)やアンケートによる悩み調査を行う。
 - 児童指導研修会において、配慮が必要な児童について共通理解を図る。
 - 職員会議や学年会での児童の情報交換を行い、共通理解を図る。(通年)

(6) 家庭、地域、関係機関との連携

- ★□ 学級懇談、学校だよりや学年だよりなどで、基本的な生活習慣の定着を図ったり、家庭学習の習慣化を進めたり、「いじめゼロ」に向けた啓発をしたりして、家庭や地域と連携し指導ができるよう努める。(通年)
- ★□ 昔遊び集会に地域のお年寄りを招待したり、ボランティアティーチャーとふれあったりすることにより礼儀を身に付け、思いやりの心を育む。(11月)
- 地域清掃活動や高齢者施設を訪問して交流するなどのボランティア活動に取り組み、勤労や社会奉仕の尊さを体験させる。(5・2月)
- 地域学校園内の児童生徒指導強化連絡会等を通して児童生徒に関する情報を共有し、児童への適切な指導や問題行動の未然防止を図る。(6・11月)

(様式4)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	2 3	学校名	宇都宮市立平石中央小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	--------------

令和4年度 健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

1 健康（体力・保健・食育・安全）に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・ 身長・体重は、全国・県の平均と大幅な差はない。
- ・ 元気っ子健康体力チェックの結果と全国の平均値を比較すると、男子では握力・長座体前屈・反復横跳び・シャトルラン・立ち幅跳びで平均を下回る学年が多い。女子は、上体起こし・反復横跳び・ソフトボール投げで平均を上回る学年が多い一方、立ち幅跳びで平均を下回る学年が多い。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから (※体力・保健・食育・安全について、それぞれ記入する。)

【体力向上】

- ・ 「運動することは大切だと思っている」また、「休み時間や放課後、休日などに、自分から運動をするようにしている」の問いに対する肯定割合が、5つの学年で市平均を上回っている。

【保健教育】

- ・ 1日の睡眠時間について、「8時間以上」と回答した児童の割合は69%で昨年度より3%増加した。一方で「6時間未満」と回答した児童は12%、ぐっすり眠ることができるのは「週に6日未満」と答えた児童の割合は11%である。

【食育】

- ・ 「朝食を食べている」「栄養バランスを考えて食べることは大切だと思う」の問いに対して、ほとんどの児童が肯定的回答を示している。
- ・ 「好き嫌いをしないで食べている」の問いに対して、肯定的割合が昨年度より6.1%下がった。

【安全教育】

- ・ 「交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている」「不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている」の問いに対する肯定割合が全学年100%である。
- ・ 「自分や身の回りの人々の安全に気を配り、安全に行動している」の問いに対する肯定割合が5つの学年で100%である。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

(※体力・保健・食育・安全について、それぞれ記入する。)

【体力向上】

- ・ 体育の授業や体育的行事に積極的に取り組む児童が多いが苦手意識をもつ児童も少数いる。

【保健教育】

- ・ 児童はコロナウイルス対策の必要性を理解し、こまめな手洗いやマスクの着用、3密の回避に取り組むことができた。
- ・ 機会を捉えての治療依頼により、疾病の受診率は良いが、歯科の受診率が低い。

【食育】

- ・ 給食で嫌いなものを一口でも食べようと努力する姿が見られるが、献立によっては残食する児童も若干名いる。ほとんどの児童が完食をしている。

- ・ コロナウイルス対策により密を避けるため、食堂や教室に分散して給食を食べた。

【安全教育】

- ・ 交通安全教室や避難訓練等の行事は、安全を意識し真面目に取り組んでいる。

2 今年度の重点目標

- ・ 進んで健康・体力の向上に取り組む児童の育成
ー運動の日常化、健康的な生活の追求、保健・体育の充実ー

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「令和4年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

（1）体力向上

- ★□体育での準備運動や補強・補助運動（平央サーキットトレーニング）の充実及び各領域での筋力アップを意図した指導の工夫（通年）
- ★□健康増進と運動の日常化を図る業間運動「平央タイム」の実施（通年）
- ★□体育に関する成長の記録による児童の運動記録の通知（通年）
- ★□「うつのみや元気っ子プロジェクト」ミニマム達成を意図した発達の段階に応じた指導の充実（通年）
- ★□元気っ子健康体力チェックの結果分析と課題改善のための授業の工夫及び個人差に応じた指導の実施（通年）
- ★□水泳検定・縄跳び検定の実施（7月，1・2月）
- ★□長縄大会の実施（1・2月）

（2）保健教育

- ★□学校歯科医の協力による歯科検診の実施（年2回）や週1回のフッ化物洗口
- ★□「歯の健康教室」の実施（10月）
- ★□歯と口の健康週間の設定と作文・標語・ポスターの募集，よい歯の児童表彰等による保護者への啓発（4・6・月）
- ★□キラキラウィーク（歯と口の健康に関する啓発）（6月）
- ★□早寝・早起き・朝ごはん調べの実施（6月，8月，12月）
- ★□薬物乱用防止教育の実施（10月）
- ★□定期健康診断の結果通知（6月）
- ★□学校保健委員会での情報交換（1月）

（3）食育

- ★□食育だよりの定期的な発行（通年）
- ★□おにぎりの日・お弁当の日の充実（10月・12月）
- ★□早寝・早起き・朝ごはん調べの実施（8月）
- ★□学校給食委員会での情報交換（10月，1月）
- ★□食育と学級活動や保健，家庭科の学習との連携（随時）
- ★□保護者全体への食育に関する講話の実施（10月）

（4）安全教育

- ★□市役所の協力による交通安全教室（5月）
- ★□不審者を想定した防犯教室の実施（7月）
- ★□地域安全マップの作成とその活用（4月～7月：5学年）
- ★□地震，火災を想定した避難訓練（4月，9月，11月）
- ★□「防災教育の手引き」を活用した竜巻対応訓練（隔年・随時）